

宮野目小学校５年
小田島（おだしま） 千結（ちゆ） さん

大切な命

私は戦争がどういうものだったのか、知る機会はほとんどありません。そのため、非核平和学習会に参加し、広島で起きたことを見てみたいと思い参加しました。

原爆ドームはボロボロすぎて驚いてしまいました。原爆が落とされる前と落とされた後の違いは想像以上であり、すべてを破壊してしまう原子爆弾の恐ろしさを感じました。

一番印象に残っているのは資料館です。当時の写真や服、絵などがありました。写真からは、「生きたい」という強い思いが伝わってきました。

平和記念式典に参加し、戦争の恐ろしさを忘れず、周りの人を大切にしようと思いました。

たった一つの原子爆弾で何万人もの人が亡くなってしまいます。いま、生活している毎日がどれほど幸せで特別なのかを深く実感しました。一人一人の思いが広がって、戦争のない世界へとなっていければいいなと思います。



八重畑小学校５年
中村 望乃叶（なかむら ののか） さん

広島に行って学んだこと

私が学習会に参加して印象に残っていることは三つあります。

一つ目は、原爆ドームです。実際に見ると圧倒される存在感でした。今にも崩れそうな姿がここで起きた悲惨な状況を物語っていました。

二つ目は、平和記念資料館です。展示物を見てそこにあった日常が一瞬で変わってしまったんだとすごく胸が苦しくなりました。

三つ目は、平和記念式典です。世界中から多くの人が集まり、平和を願う人がたくさんいるのだと思いました。

私と同じくらいのこども代表の人たちが、「平和とは誰かにあたえられるものではなく世界中の人々で創り上げるものです」と言っていました。私たちは今、平和に暮らすことができていますが、世界では戦争をしている国があり、とても悲しいです。世界が思いやりの気持ちを持つこと、同じ人間であることを大切に生きていけたらいいなと思いました。



花巻小学校６年
薮亀（やぶき） 武瑠（たける） さん

戦争と未来への希望

中東戦争のニュースを見たことをきっかけに家族と話をした時、自分のご先祖様がかつて兵隊として戦地へ行ったことがあるということを知りました。それまで教科書や本の中の話だった戦争が、自分との血のつながりや、過去の日本とのつながりがあるということを実感し非核平和学習会に参加したいと思いました。

学習会１日目は、資料館の展示を見て、生き残ったとしても大切な家族や友達を失った悲しみは、本当に辛かっただろうと思いました。その夜、僕は、見てきた悲惨な光景や苦しむ人々の思いが頭から離れずなかなか眠りにつけませんでした。

２日目の平和記念式典には、世界各国から多くの人が集まりました。子供から大人まで、国や言葉の壁を越えて人々が祈りをささげていて、核や戦争がなくなる事を祈る気持ちはみんな同じなんだなと思いました。平和のために自分に何ができるのかを考えながら生きていきたいと思います。



若葉小学校６年
瀬川（せがわ） 煌太（こうた） さん

非核平和学習会に参加して

平和記念公園に着いて、最初に原爆ドームを見たとき、「ここで原爆が落とされ多くの人が亡くなったんだ」と思いました。壊れた建物を見ていると、当時の大きな被害を想像して、とても胸が苦しくなりました。

平和記念資料館にも行きました。特に心に残ったのは、原爆によって被害を受けた人たちの話で、戦争は一人一人の生活や命を奪うものなのだと強く感じました。

また、原爆の子の像も見ました。像の周りには、たくさんの折り鶴が飾られていました。折り鶴には、平和への願いや、亡くなった人たちへの想いが込められているそうです。

広島を訪れて、平和は当たり前にあるものではないのだと感じ、命の大切さと平和のありがたさを改めて考えることができました。友達や家族を大切にし、日頃から自分ができることを考えて行動したいです。そして日本以外の国でも笑顔で人々が暮らせるような世界になってほしいです。



桜台小学校６年
及川（おいかわ） ふゆ さん

非核平和学習会に参加して

ガイドさんの話を聞きながら原爆ドームの周りを歩き、平和記念資料館に行きました。展示されていた中には保育園の制服もあり、心がしめつけられる気持ちになりました。原子爆弾が落とされた81年前は焼け野原になり、75年間は草も木も生えないと予想されていましたが、予想は外れ、今の魅力あふれる広島になったことをとてもうれしく思います。

２日目には、広島の平和記念式典に出席しました。世界では今もなお戦争が続いているということを知り、とても悲しい気持ちになりました。私は核を脅しに使った軍事侵攻や、国際法をないがしろにする横暴なふるまいは、決していいことではないと思います。私はこの式典に出席し、少しでもまわりの人に広島に行ってきて学んだことを伝えられるように努力したいと思います。



桜台小学校５年
川村（かわむら） 絆菜（はんな） さん

大切なものを守るために

私は、非核平和学習会に参加して心に残ったことが、三つあります。

一つ目は、原爆ドームです。すごく立派で、丈夫な建物だったのに原爆で一瞬にして崩れた恐ろしさが伝わってくるからです。二つ目は、平和記念公園です。戦後に「平和を世界に伝えるまちにしよう」という人々の思いから、公園には草花などが植えられていて、亡くなった人々への思いがこめられていると感じたからです。三つ目は、広島平和記念資料館です。展示されている制服や黒焦げになったお弁当などを見てすごく恐ろしさを感じたからです。

私にとって平和は、ふだんの生活を家族と笑顔で過ごすことだと思います。その平和な日常を守るために私たちができることは、相手の気持ちを想像し、意見の違いがあっても認め、受け止めることです。そして、自分と相手の命を大切にすることだと思います。大切なものを守るために私が今できることをがんばりたいです。



桜台小学校６年
千葉（ちば） 陽斗（はると） さん

81年前の広島から、今のぼくへ

今から81年前、広島に一発の原子爆弾が落とされたことによって、当たり前の生活がうばわれ、多くの人の命が失われました。ぼくは、なぜそのようなものが作られ、広島に使われたのか疑問に思い、それを知るために参加しました。

広島平和記念資料館では、焼けた服や持ち物、原爆が落とされた後の写真などを見て、これが現実に起こったことなのか信じられない気持ちになりました。

さらに調べていくと、アメリカで作ったばかりの原子爆弾の力を調べるため、当時の広島にあった軍の施設に爆弾が落とされたことが分かりました。実験のような理由で多くの人を犠牲にするしかなかったのだろうかと心が痛みました。そして、「平和とは何だろう」ということも考え、当たり前と思っているいつもの生活が平和であり幸せなのだと気付きました。そんな幸せをこわしてしまう核兵器がある限りこの世界は平和にならないと思います。

非核平和都市宣言
（平成18年3月13日議決）

世界の恒久平和は、人類共通の願いです。

しかし、今なお、世界各地では悲惨な戦争があとをたたず、また、核兵器の存在が人類の生存と平和に大きな脅威をもたらしています。

私たちは、世界で唯一の核被爆国民として、地球上で二度と核兵器による惨禍を繰り返さないため、その悲惨さを全世界へ訴えていく重要な役割を担っています。

花巻市民は、日本国憲法の基本原理であり、人類共通の願いである恒久平和に向けて、非核三原則を遵守し、全ての核兵器の廃絶と軍縮が推進されることを強く願い、ここに「非核平和都市」を宣言します。

「平和教室」の開催団体を募集しています

市では、非核平和に関する講話や平和ビデオの上映などを行う「平和教室」を開催する団体を募集しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。